

「正しいことには勇気を出して」 (1時間扱い)

「ドッジボール」(出典『どうとく4ゆたかな心で』東京書籍)

授業者 阿保 裕也

1. <<主題について>>

ねらい： これまでの生活を振り返り、正しいと思うことは、勇気をもって行おうとする大切さや難しさについて考えることができるようにするとともに、正しいと思うことは、勇気をもって行おうとする態度を育てる。

旧：1－(3) 勇気 正しいと判断したことは、勇気をもって行う。

新：A－(1) 善悪の判断, 自律, 自由と責任 正しいと判断したことは、自信をもって行うこと。

中学年においては、認識能力を高め、善悪についての判断力が高まってきている。しかし、悪いとは分かっている、周りの雰囲気流されてしまったり、友だちにきっぱりと断る勇気がなかったりするために、やっではいけないことをやってしまうことがある。どんな立場にあっても、正しいと思ったことは勇気をもって主張したり実行できる態度を養うことが大切である。

資料では、ドッジボールをする中で友だちとの関わりについて書かれている。昼休みに遊んでいたドッジボールで、いく子は一郎にボールを当てた。しかし、本人に当たっていないと言われる。その様子を一番近くで見ていた明はアウトだと言うが、他の周りのクラスメイトは、力が強く勉強や運動ができていつも威張っている一郎に味方する。その日の帰りの会で、いつもはおとなしい登が、一郎はアウトであったこと、一郎の意見に何でも賛成するのはどうかと思うことをみんなの前で発言する。その一言で、みんなは考えさせられるのであった。自分の体験と比較しながら資料を読み深め、自分だったらどう考えるのか自分の立場をはっきりさせながら、学級全体で議論を深め、正しいと思ったことは勇気をもって主張することの大切さやその難しさについて考えさせたい。

2. <<道徳の時間における発達段階を踏まえた育成すべき資質・能力>> 主として自分自身に関すること

	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか)
第三・四学年	<ul style="list-style-type: none"> 健康や安全に気を付けて生活し、主体的に考えて、節度ある生活を送ることができる。 自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げることができる。 正しいと思ったことは勇気をもって行動に移すことができる。 過ちを素直に認め、正直に伝えることができる。 自分の特徴に気づき、よい所を伸ばすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの生活を振り返り、客観的な見方で善悪の判断をすることができる。 よりよい生活や自分に近づけるために、自分たちの生活を振り返りながら、多面的・多角的な見方で自分の思いや願いを表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの生活を見直し、自ら考えて度を過ぎさない節度のある生活をしようとしている。 自ら課題を見つけ、自分がやらなければいけないことを粘り強く取り組もうとしている。 正しいと思ったことは、勇気をもって行動に移そうとしている。 過ちを素直に認め、正直に明るい心で元氣よく生活しようとしている。 自分の特徴に気づき、よい所を伸ばそうとしている。 よりよい自分を実現するために、仲間と協力しながら、課題に向かって見通しをもって学習に取り組んでいる。

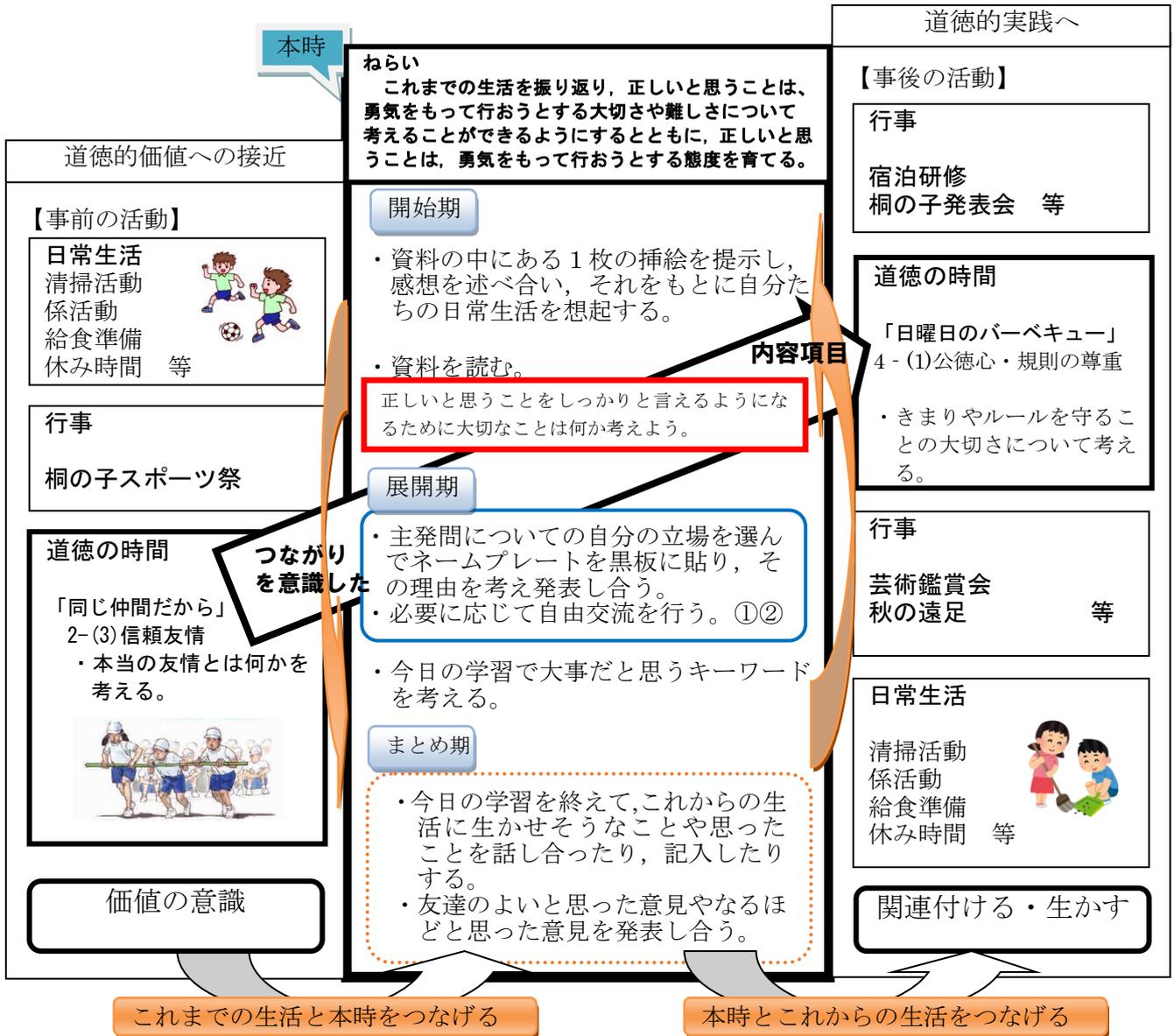
3. <<育成すべき資質・能力を踏まえた学習の評価規準>>

	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか)
	評価1	評価2	評価3
	<ul style="list-style-type: none"> 正しいと思ったことは勇気をもって行動に移すことの大切さに気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの生活を振り返り、正しいと思ったことは勇気をもって行動に移すことについての自分の思いや願いを多面的・多角的な見方で表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しいと思ったことは勇気をもって行動することの大切さに気づき、これからの生活に活かそうとしている。 友だちとの話し合いや交流を通じて、正しいと思ったことは勇気をもって行動することについての自分の道徳的な見方、考え方、感じ方をひろげ、よりよい生き方について考えようとしている。

4. 研究とのかかわり

「三つの視点」を生かしたアクティブ・ラーニングの具体を以下に示す。子供が学びの連続性、必要性、関連性を自覚しながら学ぶことができるよう「学びの文脈のある単元を構想する」。その中に「必要感のある協同的な学びの設定」と「目的に応じた弾力的な振り返りの設定」を位置付ける。

(1) 学びの文脈がある学習を構想する ～学習のグランドデザイン～



～本時における～

(2) 必要感のある協同的な学びを設定する

- 児童同士の主体的な議論を促すために、自分の立場を選択し、黒板にネームプレートを貼ることで、発問に対する児童の立場を明確にし、理由を考えることができるようにする。
- 発問に対するお互いの立場を視覚化することで、友達の意見を求める状況が生まれ、必要感のある交流を行うことができるようにする。

(3) 目的に応じて振り返りを弾力的に設定する

- 道徳的価値観の深まりを実感できるよう、これまでの生活における自分の行動を振り返る場を設定する。
- 友達のよいと思った意見やなるほどと思った意見を発表し合い、児童同士の認め合う場を設定する。

必要感のある協同的な学び

目的に応じた弾力的な振り返り

5. 《本時案》

本時のねらい

これまでの生活を振り返り、正しいと思うことは、勇気をもって行おうとする大切さや難しさについて考えることができるようにするとともに、正しいと思うことは、勇気をもって行おうとする態度を育てる。

	学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
開始期	<p>○資料の中にある1枚の挿絵を見て、感想を述べ合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">2つに分かれてけんかしているよ。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">遊んでいるとたまにこういうことがあるよ。</div> </div> <p>○資料「ドッジボール」を読む。</p>	<p>☆日常生活と内容項目との関連が図れるよう、資料の挿絵について感想を述べ合い、それをもとに日常生活を想起する場を設定する。</p> <p>☆教師が解説しながら資料を読むことで、登場人物や状況を整理し読み間違いしないようにする。</p>
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;">正しいと思うことをしっかりとと言えるようになるために大切なことは何か考えよう。</div>	<p>☆学級全体で話し合う課題を明確にする。</p>
展開期	<p>○登場人物「明」の行動について、自分の立場を選び、なぜそう思うのか理由を表す。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;">もし、自分が明だったら一郎に何と言いますか。</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%; text-align: center;"> <p>アウトだ</p> <p>見たのだから、しっかり言うべきだよ。</p> <p>周りに合わせてセーフというのはいやだと思うよ。</p> <p>正しいことを言わないと、傷つく人もいると思うよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%; text-align: center;"> <p>セーフだ</p> <p>友達だから、セーフと言ってしまいうかもな。</p> <p>一郎くんに対してはアウトと言えないかもしれないな。</p> <p>本当のことを言ったら、一郎ともめてしまうかもな。</p> </div> </div> <p>○今日の学習で大事だと思うキーワードを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>勇気 言いやすい雰囲気 正しいことを言わないと友達を傷つけてしまう</p> </div>	<p>☆<u>児童同士の主体的な議論を促すために、黒板にネームプレートを貼ることで発問に対する児童の立場を明確にし、理由を考えることができるようにする。【必要感のある協同的な学び】①</u></p> <p>☆友達の見解を聞いて立場が変わった場合は、立場を変更してもよいことを伝える。</p> <p>☆<u>発問に対するお互いの立場を視覚化することで、友達の見解を求める状況が生まれ、必要感のある交流を行うことができるようにする。【必要感のある協同的な学び】②</u></p> <p>◇これまでの生活を振り返り、正しいと思ったことは勇気をもって行動に移すことについての自分の思いや願いを多面的・多角的な見方で表現することができる。【評2】</p> <p>☆多様な意見が出るよう、児童の価値観をゆさぶる問い返しを行っていく。</p> <p>☆課題にせまれるよう、大事だと思うキーワードを見つれたり、構造的な板書を心掛ける。</p> <p>◇正しいと思ったことは勇気をもって行動に移すことの大切さに気付いている。【評1】</p>
まとめ期	<p>○今日の学習を終えて、これからの生活に生かせることや思ったことを話し合ったり、記入したりする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">明や登のように正しいことはちゃんとと言えるようになっていきたい。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">正しいことをしっかりと伝えるのは難しいな。</div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">正しいことを言い合える関係がいいなあ。</div> <p>○友達のよいと思った意見やなるほどと思った意見を発表し合う。</p>	<p>☆<u>道徳的価値観の深まりを実感できるよう、これまでの生活を振り返る場を設定する。【目的に応じた弾力的な振り返り】①</u></p> <p>◇友達との交流を通じて、正しいと思ったことは勇気をもって行動することについての自分の道徳的な見方、考え方、感じ方をひろげ、よりよい生き方について考えようとしている。【評3】</p> <p>☆開始期の児童の発言を取り上げるとともに、日常生活において、「勇気をもって行うことの大切さについて」考えるよう促す。</p> <p>☆<u>友達のよいと思った意見やなるほどと思った意見を発表し合い、児童同士の認め合う場を設定する。【目的に応じた弾力的な振り返り】②</u></p>